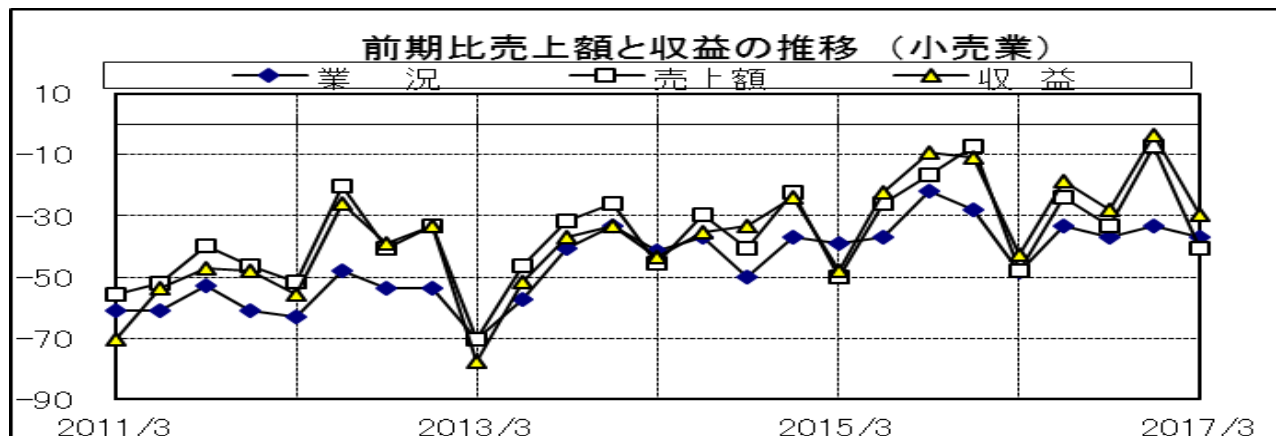


小 売 業 54 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績
業 況	-37.0	-33.4	-37.0	-16.6
売上額	-33.4	-7.4	-40.7	5.6
収 益	-27.8	-3.7	-29.7	5.6

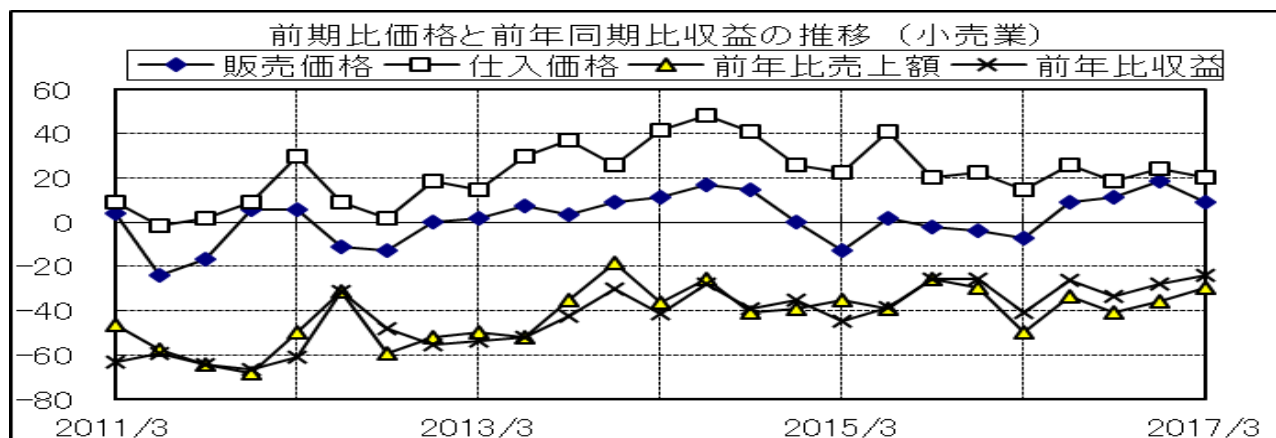
今期の業況判断 D. I. は△37.0 で、前期比 3.6 ポイント下降、前年(△48.2)比では 11.2 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、えりも、静内、広尾、様似、浦河と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△40.7 で、前期比 33.3 ポイント下降。収益判断 D. I. は△29.7 で、前期比 26.0 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 見 通 し
販売価格	11.1	18.5	9.2	11.2
仕入価格	18.5	24.0	20.3	20.4

販売価格判断 D. I. は 9.2 で前期比 9.3 ポイント下降、前年(7.4)比では 16.6 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 20.3 で前期比 3.7 ポイント下降、前年(14.8)比では 5.5 ポイント上昇した。業種別では販売価格が上昇したのは食料、家電、仕入価格が下降したのは衣料、食料となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 見 通 し
残業時間	-3.7	-5.6	-16.7	-5.6
人手状況	-22.2	-22.2	-7.4	-11.1

残業時間判断 D. I. は△16.7 で、前期比 11.1 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△7.4 で、前期比 14.8 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

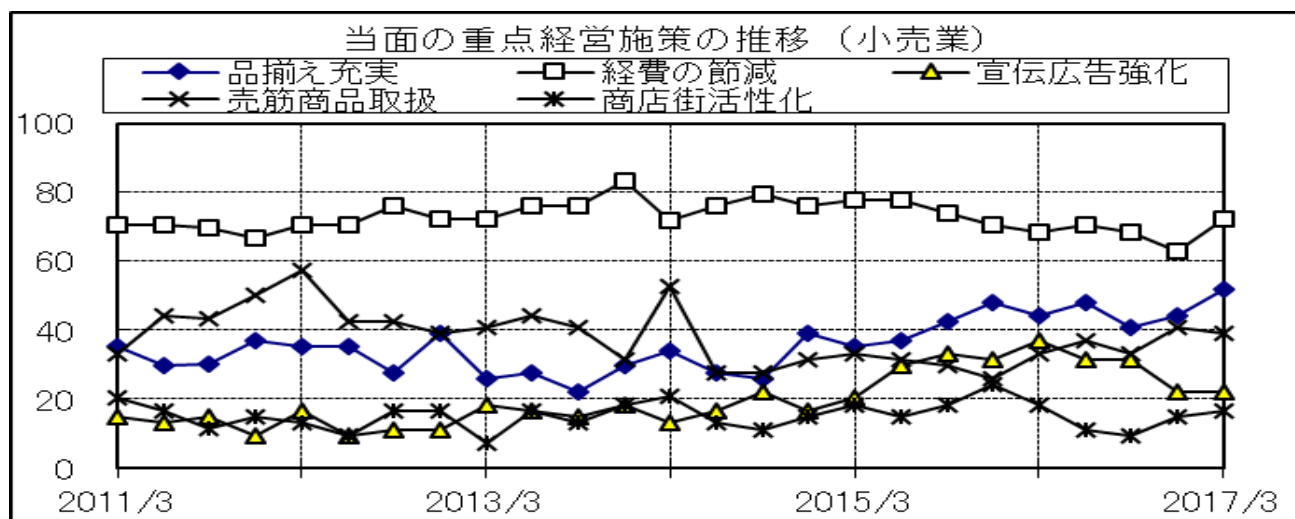
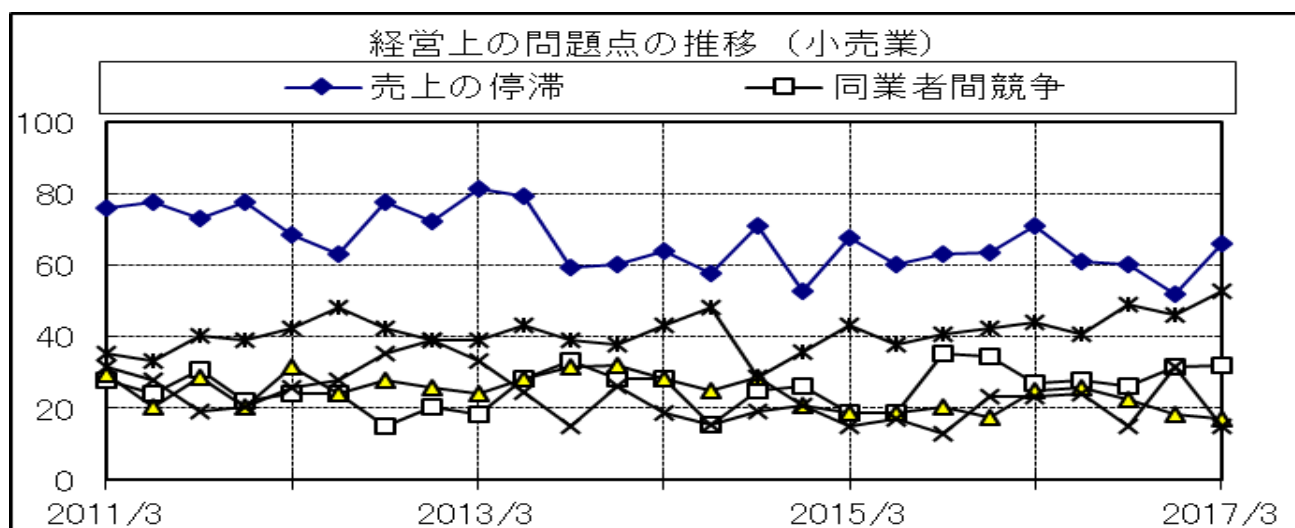
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△11.1で、前期と同水準となった。

設備実施企業割合は7.4%で、前期比1.8ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資の予定は4社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」66.0%、「商圈人口の減少」52.8%、「同業者との競合」32.1%、「取引先の減少」22.6%、「利幅の縮小」17.0%、「大型店との競合」15.1%、「商店街の集客力低下」13.2%、と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」72.2%、「品揃えを改善する」51.9%、「売れ筋商品取扱」38.9%、「宣伝広告を強化」22.2%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△16.6と、今期比20.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は5.6と、今期比46.3ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は5.6と、今期比35.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は11.2と、今期比2.0ポイントの上昇を見通している。

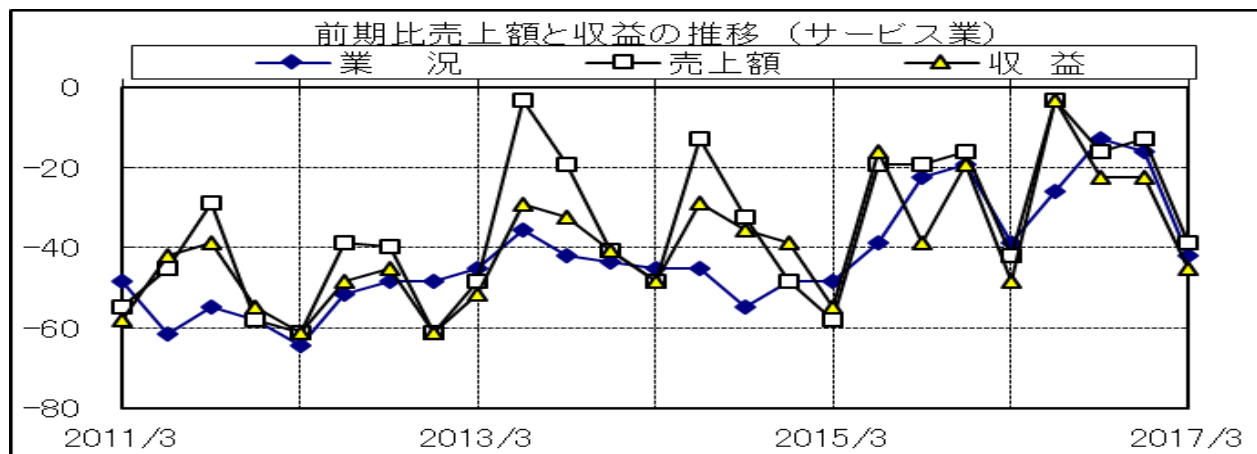
予想仕入価格判断D.I.は20.4と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-12.9	-16.2	-42.0	-22.6
売上額	-16.1	-13.0	-38.7	-9.7
収 益	-22.6	-22.6	-45.2	-9.7

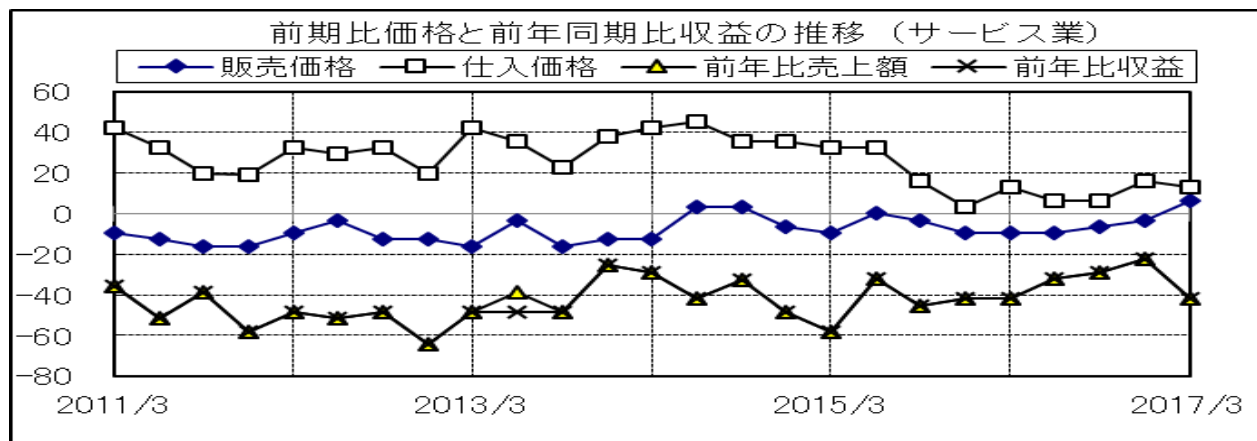
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 42.0$ で、前期比 25.8 ポイント下降、前年 ($\Delta 38.7$) 比でも 3.3 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、えりも、三石、浦河、と続き、静内、様似、広尾が同率で続いた。売上額判断 D. I. は $\Delta 38.7$ で、前期比 25.7 ポイント下降した。収益判断 D. I. は $\Delta 45.2$ で、前期比 22.6 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
料金価格	-6.5	-3.2	6.5	6.5
材料価格	6.4	16.1	12.9	12.9

料金価格判断 D. I. は 6.5 で前期比 9.7 ポイント上昇、前年 ($\Delta 9.7$) 比でも 16.2 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 12.9 で前期比 3.2 ポイント下降、前年 (12.9) 比では同水準となった。業種別にみると、料金では、洗濯理美容、自動車整備が上昇。材料は洗濯理容が上昇、旅館が下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-6.5	-9.7	-12.9	-19.4
人手状況	-22.6	-22.6	-12.9	-25.8

残業時間判断 D. I. は $\Delta 12.9$ で、前期比 3.2 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 12.9$ で、前期比 9.7 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

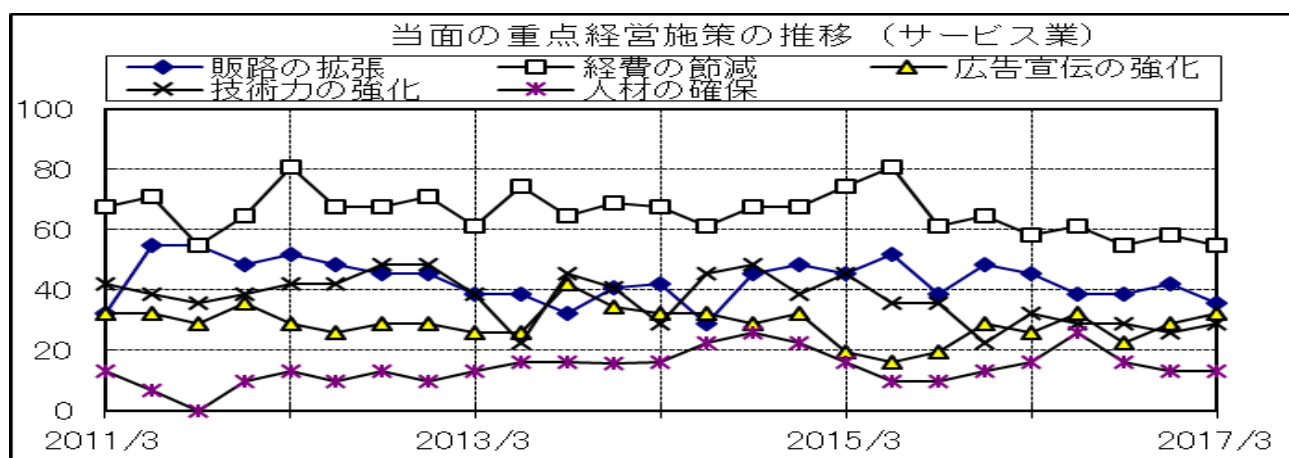
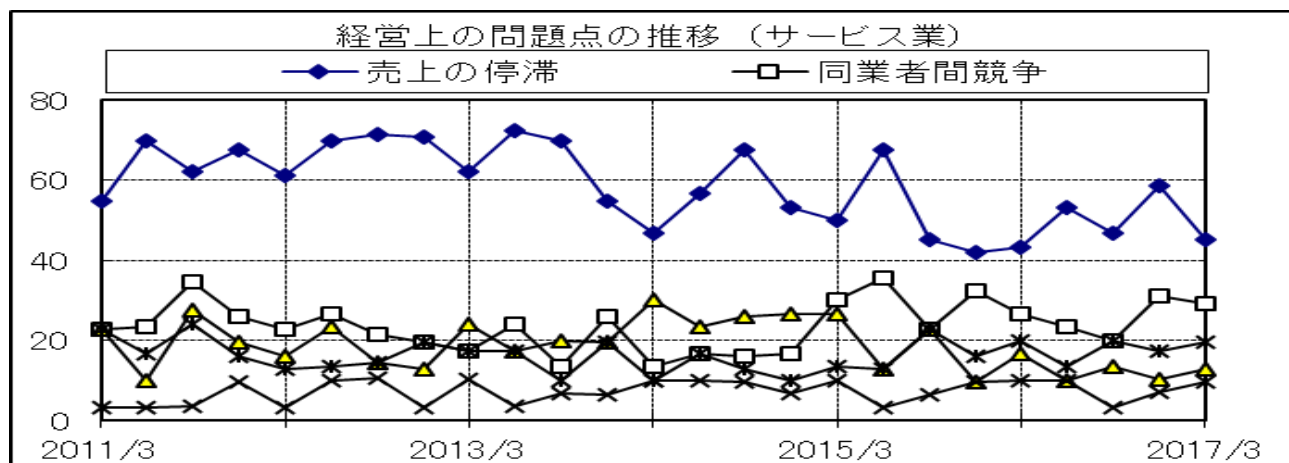
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△12.9で、前期比3.3ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は19.4で前期比3.3ポイント上昇した。設備投資は、前期5社の実施に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」45.2%、「商圈人口の減少」41.9%、「同業者との競合」29.0%、「地場産業の衰退」19.4%、「材料価格の上昇」16.1%、「人手不足」・「利幅の縮小」が同率の12.9%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」54.8%、「販路を広げる」35.5%、「宣伝広告の強化」32.3%、「技術力を強化する」29.0%、「提携先を見つける」・「人材の確保」が同率で12.9%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△22.6と、今期比19.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は△9.7と、今期比29.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は△9.7と、今期比35.5ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は6.5と、今期と同率の横這いを見通している。

予想材料価格判断D.I.は12.9と、今期と同率の横這いを見通している。